



租税教育

教育長 津野庄一郎

「税金のおかげで1つの輪になっている」「税金はみんなを守る宝物」の言葉は、昨年、関川小学校の子どもが「税に関する絵はがきコンクール」で入賞した作品中の文言です。税の価値について言い得て妙で、絵も含め実にうまいと感心しました。

先月末、村上市生涯学習推進センターで、令和7年度の「岩船地区租税教育推進協議会定期総会」があり、本年度の事業計画等が審議・承認されました。関川村からは私の他4名が出席。主権者として未来を担う子どもたちに、租税への正しい理解を深める必要性を確認し合いました。

村の小中学校では、毎年「租税教室」を開催するなど、税の専門家から具体的な話をお聞きし、自分たちが納める税への興味・関心を高めたり、「税に関する作文」や「絵はがきコンクール」の応募を通じて、税の役割や重要性を考えたりしています。租税教育は、税の知識や理解だけではなく、広く社会の仕組みや公共サービスへの関心を高め、よりよい社会の在り方を考える主権者教育にもつながる大切な取組です。教育委員会としても、推進協議会と連携を図りながら、適切な情報提供と啓発に努めます。

昨年税の作文で、新潟県知事賞を受賞した関川中学校の佐藤萌加さん（現高校1年生）は、その文末をこう結んでいます。「私も将来納税することで日本の森林を、そして大好きな故郷である、関川村の美しい景観を守りたい」と。

<【写真】絵はがきコンクール・最優秀賞：伊藤美結さん（左）と奨励賞：大根澤凜人さん(右)>